

今月のコラム

冬場の営業活性の「光」依存に疑問も

M3LABO 村松 誠



昨今の冬場のテーマパークは「イルミネーション」がまるで唯一無二感状態。赤が1962年に発明され、窒化ガリウム青が1990年代に日本人ノーベル賞受賞者赤崎、天野、中村各位によって実用化し発光ダイオードの発明国としては賛同だが、更に技術の進化によるプロジェクションマッピングが付加し1969年ディズニーランドでの実用化から、光源のや高輝度プロジェクターの進化より屋外表現が高度化。2008年北京オリンピックに起因し世界化し、さらに国内でも2012年9月東京駅の大型施設壁面でのプロジェクションマッピングから多角的な実施可能なことが大衆化し2010年代機材の小型化により全国化した。ただ投影基準の低下傾向からイベント開催主義となり建物価値の毀損事案の課題増加が問題にもなっているようだ。

同じことがイルミネーションに対しても始まっている。冬場の入場動員強化の寄与は今や日本中を席捲。唯一仕掛けの様相である。が一方植物を主役とする植物園やガーデンにおいては本当にBESTか？という疑問が噴出しているようである。植物は昼夜で活動が異なる。昼間は太陽光の下フル稼働の光合成。一方夜は周囲が暗いので光合成はせずに呼吸をし、蓄えたエネルギーを使い、成長する。夜間ライティングは植物にとっては「ブラック職場」。ということで植物研究者や自ら運営指導してる植物園の著名な樹医さんも設備投資との収支と樹木への悪影響を鑑みて中止も検討とか。友人のガーデンのオーナーは言下に「ありえない。植物が可哀そうです。」とまた「帯広の紫竹ガーデン」でも15年前にイルミやったが3年で中止。樹木への負担から辞めた、その後の花の色が鮮やかになったと。植物の喜びが伝わる逸話だ。

この根本課題は独立法人運営という営利問題があるのかもしれない。世界で蔓延の利益至上主義が起因。自然を守り、自然と共存共栄は無駄経費なのか？人類だけで生きていけるのか？酸素や水も全部工場生産ではないのだが。では冬場活性では他に好事例はあるのか？だか。

自分の経験ではNEWYORKで体感。

ヤンキース球場の北のブルックス地区のNEWYORK植物園(NYBG)。同じ市内のブルックリン植物園は美術館との併設状態なので冬場も併催可能なのですが見せるべき植物もないということで11月中旬からは無料開園。一方NYBGは「菊展」(新宿御苑指導の本格派)次の開催が「TRAIN SHOW」模型の列車と鉄道の「子供催事」ではなく環境演出物が世界最高峰の技もの。国内の歴史的建造物を園内採集の木実や小枝や枯葉で作成。毎年一基ずつ増加している。大作は数メートルにも。訪問日は氷雨ふる日でしたが入場は予約制



家族連れでにぎわう温室内と展示物



カエデ
kaede

なので満席。これも知恵や工夫は多種多様の実例であり今やクリスマス時期の風物詩となっている。この細工技は日本人がむしろ最も得意技とする世界と言える。wasington 植物園でも同時期に開催中である。冬場の光のイルミネーションを見るたびに綺麗だが生体への疑問と従業員の深夜残業や投資効率も感じてしまう昨今ではある。



NY 植物園のジオラマの大作「ペンシルバニア駅」



木の実や枝で作られた建物の装飾部分

“第2回フラリエみらい花フェスタ”に出展します

2017年4月13日(木)～4月16日(日)

花と緑いっぱいのイベント「フラリエみらい花フェスタ」が名古屋中心街で開催するにあたり、ガーデンを考える会ではスペースを確保、会員に無料で小間を提供します。

出展場所は、回廊部分の1.5×10mで、1.5×2.5mを1小間として、会員の皆様に展覧を募集します。商品PRや物販などにお使いください。詳細はイベント委員会の中島吉之副会長(TEL:090-1621-9491)、出展お申し込みは事務局までご連絡ください。事務局 FAX052-571-2208、メール npogarden@green-joho.jp



会場では一般を対象に、ガーデニングコンテストやメインガーデン展示、エクステリアメーカーによるガーデン展示のほか、寄せ植え教室、園芸用品販売、音楽ライブ、天野麻里絵さんのガーデン講座などが行われます(昨年の様子は会報vol.90に掲載)。



カエデ
kaede

ガーデンを考える会セミナー

生産者に聞く植物セミナー春 ～ クレマチス／ブルーベリー／椿 ～

春の園芸シーズンを前に、日ごろから取り扱っている植物についての知識をより深めるための勉強会を開催します。植物生産者を講師に招きプロ向けにお話をさせていただきます。講演後、質疑応答の時間をしっかりとりますので、あらかじめ日頃の疑問点など質問をご用意の上、ご参加ください。

日 時：2017年3月8日(水)13:00～16:00(受付12:45～)
会 場：豊明花き(株) 3階研修室 (愛知県豊明市阿野町三本木121番地)
内 容：第1部「クレマチスがすてき!!」講師 杉本公造氏(春日井園芸センター)
第2部「ブルーベリーと椿のお話し」講師 山下直木氏
第3部「Q & A」
参加費：会員無料
申込み：事務局 FAX052-571-2208 メール npogarden@green-joho.jp

園芸業界ニュース

第12回エクステリアエキシビション2017

家まわりと庭まわりの最新情報を提供する国内最大級のエクステリア総合展示会「エクステリアエキシビション2017」が4月14日(金)15日(土)東京ビッグサイトにおいて「暮らしを彩るエクステリア～人々の集う全ての空間に潤いを～」をテーマに開催する。

専門セミナーは、講演① E&Gアカデミー、講演②「プライベートからパブリックへ」講師：古橋昌氏((有)エクスプランニング)、講演③ 建物とエクステリアの美観と機能性を紐解く、講演④「暮らしを彩るエクステリアビジョンとは」講師：大熊一幸氏(GRANFACE LEX-Design Office 東京)、講演⑤ E&Gアカデミー 学生向け業界ガイダンス。



<http://www.ex-exhibition.jp/>

園芸業界ニュース

植物と暮らしを豊かに。 フリーペーパー「Botapii」創刊

暮らしに花や植物を取り入れたボタニカルライフを支援するメディア「LOVEGREEN」を運営する(株)ストロボライトは2月10日フリーペーパー「Botapii(ボタピー)by LOVEGREEN」を創刊した。LOVEGREEN編集部として企画・取材・連載してきたコンテンツの掲載はもちろん、Botapiiオリジナルの連載企画も多数掲載。

webと違って手に取って読むという体験でしか伝わらないものがある、との思いからの紙媒体、季節感を細かく伝えていけるよう月刊(毎月10日発行)とした。

全国のホームセンター、園芸店、生花店、インテリア・雑貨店、カフェ・レストラン、商業施設等で設置配布し、園芸とライフスタイル(DIY・料理/レシピ・衣食住)に関心の高い層に向けて情報を発信していく。

▼ <https://botapii.jp/>
▼ <http://strobolight.co.jp/>





カエデ
kaede



園芸業界ニュース

第19回 国際バラとガーデニングショウ

世界のバラと美しいガーデニングを紹介する国内最大規模の祭典「国際バラとガーデニングショウ」が2017年5月12日(金)～17日(水)西武プリンスドーム(メットライフドーム)で開催される。ドーム内の屋内展示のほか、駅から会場までの導線上や会場内の出入り口といった屋外の特別スペースエリアも小間が並び来場者を楽しませる。

前売り販売開始3月17日おとな1,900円。



<http://www.bara21.jp/>



園芸業界ニュース

第33回全国都市緑化よこはまフェア 3月25日～6月4日 開催

緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的として、1983年から毎年、全国各地で開催されている全国都市緑化フェア。今年は3月25日～6月4日までの72日間「第33回全国都市緑化よこはまフェア」として開かれる。愛称は「ガーデンネックレス横浜2017」。「歴史と未来の横浜・花と緑の物語」をテーマに、横浜市が先進的に行ってきた緑の取り組みの成果をアピールし、「美しい花と緑豊かなまち横浜」を発信する。

テーマフラワー



バラ(5月上旬～6月上旬)
横浜市の花であり、花と緑あふれる横浜の創造のシンボル



チューリップ(3月下旬～4月下旬)
時間とともに花の色が変化する新品種「ラバースタウン」が見られるのは横浜だけ



サクラ(3月下旬～4月中旬)
桜の名所のほか山下公園等には100基のサクラコンテナが出現

<http://yokohama-fair2017.city.yokohama.lg.jp/>

連携開催

第27回2017日本フラワー＆ガーデンショウ パシフィコ横浜 4月1日(土)～3日(月)

2016年より横浜に開催地を移し、前年比118%・59,000人の来場者を記録したフラワー＆ガーデンショウ。2017年は同じくパシフィコ横浜で、約10,000平米(面積50%増)に規模を拡大して開催する。ショウテーマは「花を楽しみつくる～家族で体験!花と緑の3日間～」テーマ展示は「バラ」。

同時期に開催する「全国都市緑化よこはまフェア」と連携して、入場者目標80,000人を目標に、前回大好評の体験型イベントをさらに拡充すると共に、新しい企画も多数企画している。



<http://www.kateiengei.or.jp/show/>